

「令和4年度入隊者の母校訪問」



自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 大柿2陸尉）は5月9日（月）に今年度、自衛官候補生として板妻駐屯地に入隊した平本候補生の母校である神奈川県立横浜旭陵高校へ春季休暇を活用した母校訪問を支援した。

自衛隊へ入隊して約一か月が過ぎ、自衛官として成長した姿を母校の先生に見せることができた。母校訪問を通じて、自衛隊への理解を一層深めていただくとともに、学校との連携が更に深まり募集広報につながっていくものと思う。

横浜中央募集案内所では「募集広報活動をしやすい環境を常に考え尽力し将来の自衛隊の金の卵を一人でも多く獲得できるように日々精進する」としている。

川崎市合同職業ガイダンスに参加



自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 宮城2陸尉）は5月21日（土）川崎市消防局において、合同職業ガイダンスを実施した。今回は、事前申し込み制で公安系職業に憧れを抱いている方々がエントリーした。

当日は、防衛省自衛隊・海上保安庁・神奈川県警察・川崎市消防局の4機関がそれぞれブースを設け、参加者を4グループに分

け、ローテーション形式で全機関の説明が受けられるように実施した。

参加者は、41名（男性26名、女性15名）で、人を助ける・地域を守るといった、日本社会に貢献しようという志の高い方が多く、各ブースでは真剣な眼差しで、説明に聞き入る姿が印象的であった。

最後には各ブースに、もっと詳しい説明を聞くために参加者が集い、

自衛隊ブースでは「生活環境」「人間関係」「資格取得」などに関する質問が飛び交い、大盛況のうちに幕を閉じた。

今回のガイダンスを通して、公安系公務員である自衛隊の魅力発信は十分にできたものと考えている。

川崎出張所では「今後も、継続して各機関と連携し入隊者獲得に寄与していきたい」としている。

